CWAJ annual report 2012-2013

MARCH 2013

CWAJ 奨学金制度 40 周年

女性リーダーを育てることが　世界を変えると信じて

第 57 回 CWAJ 現代版画展開催中の 2012 年 10 月 20 日、CWAJ 奨学金制度創設 40 周年を記念する同窓会が東京アメリカンクラブで開かれました。カフェを模様替えした会場に 30 名の元／現奨学生と、日本訪問中の在外会員 5 名を含む約 50 名の CWAJ 会員が集まり、長年の友情を確かめあいました。乾杯のスピーチをしてくださったのは、海外留学大学院女子奨学金第一号の武蔵大学社会学部メディア社会学教授(現 名誉教授)の小玉美意子氏です。

「私は 2013 年 3 月に大学を退職しますが、実は約 40 年前にも 28 歳で TV アナウンサーの仕事を退職しています。もう若くないという理由で辞めなければならなかったのです。そのとき私に扉を開いてくれたのが、CWAJ 奨学金制度でした。CWAJ のおかげで留学経験を経て、新たなキャリアで身を立てることができました」

同窓会に先立ち、奨学生はガイドの説明を聞きながら版画を鑑賞したり、例年視覚障害のある来場者のために企画される、ハンズ・オン・アート展を体験したりして過ごしました。

受給期間終了後も会員との交流を続ける元奨学生が多いことは、CWAJ が誇る特色のひとつです。特に視覚障害学生奨学金の受給者とは、VVI（p.4 参照）が受皿となって交流やサポートを続けています。

CWAJ は一貫して高等教育を受ける女性に絞って奨学金を提供してきました。私たちの限られた資金を投じて少数でも情熱あふれる女性リーダーを育てることが、もっとも有効な手立てだと信じているからです。

1972 年に現在の奨学金制度が創設されて以来、CWAJ 奨学金を受けて国内外の大学・大学院で勉強し、将来への道を切り開くことができた女性はすでに 327 名におよび、国内外のさまざまな分野で活躍しています。他の奨学金との大きな違いは、年齢や専攻について一切の制限がないことです。40 歳を過ぎて新たなキャリアに踏み出す女性、子供を連れて留学しようとする女性などにも、夢を追いかけるチャンスを提供しています。

CWAJ は視覚障害者のサポートにも心を砕き、1978 年以来、視覚障害をもつ男女の大学・大学院生のための奨学金も提供してきました。視覚障害者のみを対象とした返済不要の奨学金は日本では他にほとんど例がなく、 これまでにこの奨学金を受けた 60 名は、教育、司法、企業、芸術などの第一線でめざましく活躍しています。

2012 年度からは、CWAJ 福島支援プロジェクトの一環として福島被災学生奨学金を設け、3 月 11 日の大災害で被災した看護学生が勉学を続けられるように支援しています。（p.2,3 参照）

CWAJ 奨学金制度の運営資金は、全額が、CWAJ 現代版画展およびその他のチャリティー・イベントの純益に加え、個人および企業からのご寄付でまかなわれています。皆様のご寄付は、そのまま学生の支援に使われるのです。

なお、40 周年を記念して、奨学生 101 名のプロフィールを集めたスライドショー(英語)を作成しました。CWAJ ウェブサイト：www.cwaj.org の Scholarship セクションでご覧いただけます。

社会のニーズが変わるにつれて CWAJ も変化していくことでしょう。しかしあらゆる国籍の女性、および視覚障害のある男女の高等教育を支援するという私たちのミッションは、これからも変わることがありません。

お知らせ

CWAJ は 2013 年 3 月 1 日より一般社団法人 CWAJ（英語名 College Women's Association of Japan）となりました。

元奨学生の声より

菊池　崇（1999 視覚障害学生海外留学奨学金）
ヴィオラ奏者、英国ロンドン在住
「私は（障害をもつ音楽家による）ブリティッシュ・パラオーケストラに入団しました。ロンドン・パラリンピックの閉会式や、女王がクリスマス・メッセージを発表される際に、英国国歌を演奏するという貴重な経験をすることができました。これからの活動も楽しみです」

森　守弥子（2004 海外留学奨学金）
フジテレビ、ワシントン DC 支局長
「私はワシントン DC に初の女性支局長として赴任し、現在はホワイトハウス、国務省やペンタゴンの取材を担当しています。 DC には大勢の同級生が政府や外国大使館に勤めていますので CWAJ のおかげでハーバード・ケネディー・スクールに留学できたことに、改めて感謝の気持ちでいっぱいです」

CWAJ 福島支援プロジェクト

CWAJ では、2011 年 4 月より新たに福島の被災者支援活動を開始し、続けてきました。その活動の一環として、2012 年 12 月、安川みさ 2012 年会長を含む 7 名が相馬市と福島市を再訪しました。福島に行って痛感するのは、私たちが福島の方たちのことを忘れずに関心を持ち続けることが、何より大きな支援になる、ということです。私たちにできることはわずかですが、これからも国内外の協賛者の皆様のご協力を得て、被災地に未来への希望を届けたいと願っています。

「相馬広域こころのケアセンターなごみ」への支援

「相馬広域こころのケアセンターなごみ」は、仮設住宅や借り上げ住宅で生活される被災者、相双地域で生活する精神疾患当事者やご家族等、地域住民のこころの健康を守り、増進するための事業を行っています。CWAJ では、2012 年 1 月のオープンに合わせて車椅子対応の巡回・送迎用ワゴン車を購入、寄贈しました。CWAJ ロゴをつけた「なごみ」の送迎用ワゴン車は、今日も相馬の町を走っています。

12 月の訪問では、このワゴン車の維持費として保険料約 19 万円を寄贈、また仮設住宅の子どもたちを対象としたプログラムのために、約 15 万円相当の遊具や画材をプレゼントしました。版画家の南正雄氏からご寄付いただいた「Ganbatte Tohoku」と書かれた版画も、額装して「なごみ」に飾っていただきました。同じ版画を福島県立大学看護学部にも寄贈しました。

「今年初めての土曜一休みの会が 1 月 12 日にありました。3 連休なので参加が少ないのではないかと心配していましたが、22 名の参加がありました。昨年 12 月 8 日に CWAJ の方々から、カラートンネル・ソフトリング・モノブロック・絵本・きせかえ人形・画用紙・クレヨン・マジック等たくさんのおもちゃを寄付していただきました。 今回子ども達に人気だったのは、ソフトリングでした！！縄跳びのように跳んだり、フラフープのように腰で回したり、スタッフが高くあげたリングの上からボールを落したりと、一つのおもちゃで様々な遊びをしていたことに感心しました。元気に遊ぶ姿を見るとスタッフまで元気になります。今年もみんなで元気に遊びたいと思います」（「なごみ」ホームページの「活動報告」より）

福島被災学生奨学金

2012 年度より開始したこの奨学金は、東日本大震災で被災した福島県立医科大学看護学部の男女学生を対象としています。支給される奨学金年額 50 万円は、ほぼ 1 年分の授業料に相当します。2013 年度の受給者 4 名（うち 2 名は 2012 年度より継続）はいずれも福島県の出身で、地震による自宅の損壊や原発事故による避難生活を経験しました。また 2013 年度に新たに受給する 2 名は、2011 年 3 月の震災直後に入学した学生です。(p.3 参照)

12 月の福島訪問では、2012 年度の奨学生のほか、同学部の中山洋子教授、「なごみ」の運営にも携わっておられる大川貴子准教授にもお会いしてきました。中山教授からは、看護学部の学生を対象とした奨学金は CWAJ だけなので、とても感謝していますとの言葉をいただきました。

CWAJ 福島アート・プロジェクト（予定）

CWAJ の震災被災者支援活動への協力の一環として版画家の方から作品寄贈の発案があり、2011 年と 2012 年の招待作家にご協力をお願いしたところ、快く賛同をいただきました。その結果、37 名の作家から 143 点の小作品が寄贈されました。寄贈作品は 2012 年 CWAJ 現代版画展会場にて展示即売され、大好評を得て 150 万円を超える売り上げになりました。

この貴重な収益の使途として、一部はまず、左記の「こころのケアセンターなごみ」の子どもたちのために、画材と遊具を購入する資金にあてられました。さらに、福島の子どもたちに芸術を楽しんでもらえるようなアート・プログラムの提供も計画しています。

CWAJ の福島支援プロジェクトには、昨年も国内はもちろん、世界各地の会員や友人たちから多くのご寄付が寄せられました。謹んで御礼申し上げます。福島の復興にはなお長い年月を要します。CWAJ では、可能な限り「なごみ」の活動支援および被災学生奨学金を今後も継続していきたいと考えています。ご協力をお願いいたします。

2012 年度 CWAJ 奨学生

CWAJ 外国人留学生大学院女子奨学金
２名、支給額 各 200 万円
チョンド, イヴォンヌ　ケニア
在学校：金沢大学大学院医薬保健学総合研究科　修士課程
専攻：創薬科学科

CWAJ 佐野力奨学金
邢　婧睿（ケイ　チンエイ）　中国
在学校: 名古屋大学医学系研究科博士課程
専攻：精神医学

CWAJ 東京アメリカンクラブ・ウィメンズグループ奨学金
１名、支給額 200 万円
朴　志善（バク　ジソン）　韓国
在学校：東京大学法学部政治学研究科博士課程
専攻：政治学

CWAJ 視覚障害学生奨学金
１名、支給額 200 万円
大山　歩美（おおやま　あゆみ）
留学先：筑波大学大学院修士課程
専攻：特別支援教育

CWAJ 岡靖秀記念視覚障害学生奨学金
１名、支給額 200 万円
守井　清吾（もりい　しんご）
在学校：富山大学大学院博士課程
専攻：生命融合科学教育部生体情報システム科学

CWAJ アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター奨学金
１名、支給額 200 万円
トンプキンス, レベッカ　米国
在学校:ハーバード大学大学院東アジア研究科修士課程
専攻: ジェンダーと女性医療制度

CWAJ60 周年記念海外特別奨学金
１名、支給額　18 万円を 5 年間
ガヤガイ, サンドラ・グリン　フィリピン
在学校：セントルイス大学医学部（フィリピン）

2013年度 福島被災学生奨学金

4名、支給額　年 50 万円

東日本大震災で被災した福島県立医科大学看護学部の男女学生を対象としています。

秋山　彩子（4年）**CWAJ 奨学金受給２年目**
妊娠期および分娩前後の母親の精神的・肉体的なケアが重要だと考える。助産師となり、故郷・福島の地で出産・子育てをする母親を助けたい。

小島　史圭（3年）
看護師になりたいという幼い頃からの夢を、被災者のために粘り強く働く看護師を見て再確認した。震災で自宅を失う被害を受けたが、将来は特に障害者のために働きたいと考えている。

長澤　園子（3年）
自宅が一部損壊し、周辺は放射線が高かったため、福島県内で１年間母子避難した。企業勤務経験を生かし、助産師になって働く女性をサポートすることを目標にしている。

山田　紘子（4年）**CWAJ 奨学金受給２年目**
被災者として生活した経験から、災害時とその後の精神的なケアの重要性を再認識した。 看護師として望むのは、悲惨な状況においても命を助け、人々が希望を持てるように支援していくこと。

CWAJ フレンドリー・キルト

CWAJ のクラフトグループ「フレンドリー・クラフターズ」が復興への祈りを込めて、2012 年も半年がかりで美しいキルトを縫い上げました。家庭から持ち寄った着物地によるキルトを特賞としたラッフルは 123,500 円を売上げ、全額が CWAJ 福島支援プロジェクトにあてられました。

CWAJ はこんな団体です

一般社団法人 CWAJ（College Women's Association of Japan）は、さまざまな国の女性たちが幅広い交流の中で友情を深めながら、首都圏を中心に教育・文化活動をおこなっているボランティア団体です。
1949 年に日本人留学生への渡航費援助を目的に発足した小さなグループが、現在では約 30 カ国から集まった 450 名の会員を有する会となりました。全員が無償のボランティアとして、毎年版画展やさまざまなイベントを開催し、その純益で奨学金を提供するほか、視覚障害者や帰国児童のための英語クラスなど、楽しみながら教育支援を進めています。活動は外国人と日本人がペアを組んで、原則として英語でおこないます。

CWAJ 入会についてのお問合せはこちらへどうぞ。
membership@cwaj.org

CWAJ 現代版画展

CWAJ 現代版画展は、1956 年以来の長い歴史を経て、日本のすぐれた現代版画を紹介する公募展として、国内外で高い評価を築きあげてきました。この版画展では、日本の現代版画の粋を集めた 200 余点の作品をお楽しみいただきながら、その場でご購入いただくこともできます。これまでに当会の外国人会員や版画展を訪れた外国人とともに海を渡った日本の版画は数知れません。版画展の純益はすべて CWAJ 奨学金・教育プログラム、および福島支援プロジェクトに使われ、CWAJ の活動の基盤となっています。

2012 年の第 57 回展では、200 名の作家による 201 点の作品が展示されました。また初めての試みとして、2011 年、2012 年の招待作家から小作品の寄贈を受けて特別販売会を開催し、福島の被災者支援のために多額の資金を集めることができました。（p.2 参照）

アメリカンクラブ内のフレッド・ハリス・ギャラリーで開催される併設展は、毎回ひとつのテーマを掘り下げる試みを行なっています。2012 年は「モノタイプ」をテーマに、才能あふれる若い作家、奥山直人、小野耕石、前野智彦、藤田夢香 各氏の作品を展示して好評を得ました。2013 年は、ベテラン版画作家による版画以外の作品をご覧いただく予定です。

視覚障害者に版画を楽しんでいただくための「ハンズ・オン・アート」展も、CWAJ 版画展が続けているユニークな企画のひとつです（p.4 参照）。また、若い版画家の支援の一助として、1985 年に「CWAJ 版画家奨励賞」、2005 年に「CWAJ ヤングプリントメーカー賞」、2011 年には版画家奨励賞に代わって「CWAJ アーティスト・イン・レジデンス・プログラム」を創設しました。

2013 年 CWAJ ヤングプリントメーカー賞（YPA 賞）

1 名　賞金 50 万円
市野　悠
東京造形大学 4 年
賞金を使って石版石の主要産地ドイツに渡航し、現在使用中のものより大きな石版石を購入する予定です。

2013 年 CWAJ アーティスト・イン・レジデンス プログラム（AIR）

1 名　支給額 80 万円
門馬　英美
武蔵野美術大学修士課程修了
三輪田学園中学高等学校　美術講師
川崎市市民ミュージアム教育普及担当職員
派遣先　カナダ、ハリファクス市　Nova Scotia College of Art and Design (NSCAD)
派遣期間　2 か月以内
門間氏には、AIR の成果報告となる作品を 2014 年の版画展で展示していただきます。

「篠田桃紅　百歳を寿ぐ」

CWAJ 版画展に長年にわたりご協力くださっている篠田桃紅氏が、今年百歳を迎えられました。これまでの感謝をこめて、1980 年代、90 年代、2000 年代の作品 15 点を第 58 回 CWAJ 現代版画展会期中に展示・販売いたします。

お知らせ

第５８回 CWAJ 現代版画展
会期：2013 年 10 月 10 日(木)－12 日(土)
会場：東京アメリカンクラブ
（港区麻布台 2-1-2）
＊開催週・曜日が例年と異なります。ご注意ください。

第３回神戸 CWAJ 現代版画展
（神戸ビエンナーレ参加事業）
会期：2013 年 10 月 18 日(金)－20 日(日)
会場：神戸外国倶楽部
（神戸市中央区北野町 4-15-1）

お問合せ：PrintShow@cwaj.org

メルセデス・ベンツ・コネクションのご厚意により、ショールームにて、2011 年 11 月より 2012 年 12 月まで CWAJ の現代版画を展示販売させていただきました。

CWAJ の 視覚障害者支援活動

CWAJ は**視覚障害学生奨学金**、現代版画展での**ハンズ・オン・アート―視覚障害者と楽しむアート展**、**VVI（視覚障害者との交流の会）**の三つの柱で、長年にわたり視覚障害者支援を続けています。

視覚障害学生奨学金

視覚障害のある日本の大学・大学院生と海外留学する学生が対象です。2012 年度は 200 万円を 2 名に支給しました。（p. 1 , 2 参照）

VVI―視覚障害者との交流の会

1975 年に発足した VVI (Volunteers for the Visually Impaired)は、視覚障害者と英語を介しての交流を通して相互理解を深め、下記のような活動を通して社会参加の手助けをしています。

ECG (English Conversation Gathering)

英会話の集い

視覚障害者（VI）と CWAJ 会員が英会話を楽しむ集いです。ゲストによるスピーチ、グループ・ディスカッション、情報交換などを英語で行ないます。2012 年はこのプログラムで過去最高の参加者を記録しました。4 月にはイースターをテーマに、ドイツ、米国、インド出身の会員が母国の春祭りについて話し、イースターエッグなどを作って楽しみました（VI 28 名、会員 32 名が参加）。7 月にはイスラエル大使公邸での集いに VI 33 名、会員 10 名が参加し、CWAJ 会員でもあるカルメラ・ベン・シトリット大使夫人から同国の科学技術や文化についてお話を聞いた後、イスラエル料理を味わって楽しい時を過ごしました。12 月にはオマーン大使館のご協力で、アルムスラヒ同国大使から、日本とオマーンの長い交流の歴史などについてお話を伺いました（VI 39 名、CWAJ19 名参加）。

JVDCB(日本盲人職能開発センター)英会話クラス

四谷にある同センターで、毎週火曜日と木曜日午後 1 時から 3 時、職能訓練の一環として、英会話の指導をしています。

英検模試

筑波大学附属視覚特別支援学校の生徒の英検受験準備のために、6 月と 11 月に CWAJ ボランティアによる模擬面接を行なっています。昨年はのべ 16 名のボランティアにより、35 名の生徒が模擬面接を受けました。

日本語ニュースレターの発行

視覚に障害のある読者対象の日本語ニュースレターを年 3 回発行しています。メール、点字、拡大コピーで、2012 年には 194 名に配布しました。

ハンズ・オン・アート ―視覚障害者と楽しむアート

CWAJ では 1996 年以来、CWAJ 現代版画展で展示される版画から数点を選んで立体コピーを作成し、視覚に障害のある来場者に手で触れて親しんでいただくプログラムを実施しています。2012 年の版画展では 35 人の視覚障害者が会場を訪れ、ボランティアガイドと一緒に立体コピーに触れたり、会場に展示されている他の版画の説明を聞いたりしながら、アートを楽しみました。版画家の廣田雷風氏は、版画の感触を実感できるようにと、期間中アーティスト・プルーフの作品をご提供くださいました。また、作家自身による作品説明を録音したメディアも用意しました。

カルチュラル・プログラム

CWAJ のカルチュラル・プログラムとは、文化的、教育的、社会的なプログラムを、会員を始め一般の方や日本在住の外国人、学生にも楽しんでいただくための開かれた催しです。通常、プログラムは英語で行われます。

2013 年には二つのプログラムが開催されました。

3 月 17 日、六本木のフランシスカンチャペルセンターにて、福島の被災者支援のためのチャリティーコンサートを開催しました。米国出身で福島にも縁の深いカーティス・パターソン、ブルース・ヒューブナー両氏による琴と尺八のジャズ演奏を、250 名の聴衆が楽しみました。40 万円を超える純益はすべて福島支援プロジェクトにあてられました。

11 月 30 日には、国際文化会館に株式会社大林組の髙木浩志氏を講師に迎え、同社の施工で 5 月に開業したばかりの東京スカイツリーの建設工程について講演していただきました。自立式電波塔としては世界一の高さ（634m）を誇るスカイツリーを地震多発国日本で完成させた世界に誇る建築技術や、東日本大震災当日の状況など、スライドを駆使した専門家ならではのレクチャーに、会場を埋めた 100 名余の聴衆が熱心に耳を傾けました。また講演の最後には、金井誠大林組副社長によるクイズが行われ、正解者に同社より多数の賞品が提供されました。

2013 年は、二つのプログラムが予定されています。

「Kimono Magic」

5 月 14 日 14：00－16：00 国際文化会館

現代ならではの新しい着物の楽しみ方を学びましょう。

中国音楽コンサート

9 月 18 日 伝承ホール（渋谷区文化総合センター大和田）

王明君（中国笛子）及川夕美（ピアノ）

お問合せ：culturalprogram@cwaj.org

その他の教育プログラム

帰国児童のための英語の会

毎週水曜日に CWAJ ボランティアが Children's English Circle（帰国児童のための英語の会)を開いています。オーストラリア、米国、フィリピンなど、海外生活を終えて帰国した日本人小学生がせっかく覚えた英語を保持できるように、子供たちに興味のあるトピック、ゲーム、季節の行事、歌などを中心に、楽しい雰囲気の中で英語を使うプログラムを用意しています。

外国人留学生との交流の会

日本の大学・大学院で学ぶ留学生を対象に、日本文化や日本語教育に関わるプログラムを提供しています。留学生たちが異文化体験を通し相互理解が深まるように、CWAJ 会員がメンターとなってお手伝いをしています。2012 年はパソナ株式会社で日本での就業についてレクチャーを受けたり、歌舞伎、文楽、能を観賞したり、そば打ちを体験したりして、日本文化を学びました。

ご支援ください

CWAJ へのご寄付は、金額を問わず年間を通してお受けしています。

振込先：三菱東京 UFJ 銀行目黒支店
店番：680 普通 0259076
口座名: 一般社団法人 CWAJ

お問合せ：
CWAJ 寄付金委員長 近藤登茂栄
E-mail: donations-j@cwaj.org

CWAJ 教育・奨学金プログラム、CWAJ 福島支援プロジェクトにみなさまがお寄せくださる寄付金により、意欲にあふれる若者たちが勉学の夢を実現させ、国内外のそれぞれの分野で社会に貢献する活躍をしています。

CWAJ College Women's Association of Japan

一般社団法人 CWAJ
CWAJ センター
141-0021
東京都品川区上大崎 2-24-13-703
Tel 03-3491-2091
Fax 03-3491-2092
www.cwaj.org